

2024 年度 入試向け

プレテスト第二回問題

解答用紙

国語問題

算数問題

回答と配点

算数解説

国語解説



桃山学院中学校
St. Andrew's School



202410110

二〇二四年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第二回

国語 解答用紙

一

問9 ①	問7	問6		問5	問4	問3 III II I		問1
②	問8							問2
③								
④								

40

二

問6	問5	問4	問3 II I		問1
問7					問2
問8					

二

問9				
Z	Y		X	W
	20			
			15	
25				

三

問2	問1						
③	①	⑥	⑤	④	③	②	①
④	②	る		れる		する	

四

問4		問3	問2	問1	
④	①	①		②	①
				漢字	漢字
	②	②		記号	記号
	③				

受験番号				名前
P				
0	0	0	0	0
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9



202410130

2024年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回
算数 解答用紙

受験番号				名前
P	0	0	0	0
	1	1	1	1
	2	2	2	2
	3	3	3	3
	4	4	4	4
	5	5	5	5
	6	6	6	6
	7	7	7	7
	8	8	8	8
	9	9	9	9

1	(1)	(2)
	(3)	(4)

2	(1)	個	(2)	通り
	(3)	m	(4)	人
	(5)	cm ²	(6)	度

3	(1)	g	(2)	%	(3)	%
---	-----	---	-----	---	-----	---

4	(1)	cm ²	(2)	cm	(3)	倍
---	-----	-----------------	-----	----	-----	---

5	(1)	cm	(2)	度	(3)	cm ²
---	-----	----	-----	---	-----	-----------------

6	(1)	分速	m	(2)	m	(3)	分
---	-----	----	---	-----	---	-----	---

合計
※

桃山学院中学校 プレテスト第二回 問題

国語 [五十分・百五十点]

注意事項

- 1 問題用紙は1ページから13ページまであります。
- 2 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 3 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入してください。
- 4 解答用紙の余白には何も記入しないでください。
- 5 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 6 「終了」の合図で筆記具を置き、監督の先生の指示に従ってください。

受 験 番 号				名 前
P				

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある)
問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

(注1) 疫病は、都市や建築を、何度も大きく転換させ、作り変えてきた。歴史を振り返ってみても、ペスト(注2)によって、中世の密集した街と狭い路地は嫌われ、ルネサンスの整然とした都市と、幾何学が支配する大ぶりの建築が生まれた。A、今、コロナの後に、われわれは、どのような都市を作り、どのような建築を作らなければいけないのだろうか。

ひとつのテーマは、ハコからの脱却である。二〇世紀に、人々はハコに閉じ込められた。ハコの中で仕事をする方が効率がよいとされて、超高層ビルに代表される大きなオフィスビルや大工場に、一定時間閉じ込められて、働かされた。そのハコに出勤し、帰宅するために、再び鉄のハコに閉じ込められ、密を強要された。大きなハコで働き、通勤する人が、この世紀にはエリートとされた。そして都市はハコに埋め尽くされ、ハコとハコとの隙間も、鉄のハコの移動のための空間でしかなかった。この世紀は「自由の世紀」ともいわれたが、人々の暮らしを見る限り、ハコに閉じ込められた人々は、自由からは遠い存在に見えた。【あ】

実際にはハコに閉じ込められなくても、十分に効率的に仕事ができる技術を、すでにわれわれは手に入れている。今回のコロナ騒動によって、多くの企業がテレワークに踏み切ったが、「やればできたんだ」というのが、人々の感想であった。やればできたものを、やらないままにいたつげが、このような形でわれわれに降りかかってきた。【い】

① ハコに閉じ込める仕事のやり方は、女性にも多くの犠牲を強いた。出産や子育ての時期には、ハコに通ってみんなが仕事をするのが難しい。そのために多くの有能な女性が仕事から排除され、社会から排除されてきた。そのような女性を再び社会が受け入れるきっかけを、今回の疫病が作ることにしなければ、社会が払ったこれだけの犠牲が浮かばれないだろう。【う】

今回僕は、随分と歩いた。歩くことで体調を整え、また歩きながら様々なことを考え、様々なものを頭の中の紙の上でスケッチした。古代ギリシャのアリストテレスの一派は、歩廊で歩きながら講義を行い、逍遙学派と呼ばれた。歩きながら思考するという方法は、アリストテレスの師のプラトン、その師であるソクラテスから学んだといわれている。僕は歩き疲れると公園のベンチで仕事をした。ハコの外にいても充分な仕事はできるのである。【え】

歩くとは、人との距離を自由に選べるということでもある。密着したい時は、歩み寄って抱きしめればよいし、距離をとりたい時は、いくらでも遠ざかることができる。鉄のハコに詰め込まれて移動している時は、そうはいかない。歩くということは、いつも一人でいるということであり、自由であるということである。

【お】 公園は空調しなくても、十分に気持ちがいいが、ハコは空調し続けなければならない。昼間も照明で照らし続けなければならない。特に、最も効率がよいとされた大きなハコは、自然換気だけでは温湿度のコントロールができないので、空調が必須である。ハコの文明はすなわち、空調文明でもあった。それは同時に石油文明でもあった。安い化石燃料を燃やすことで、ハコが成立していたが、このシステムが長くは続かないことに、人々は気づき始

めていた。B、ハコを出ようとは誰も思わなかった。ハコは作り続けられていたし、より大きなハコが企業や都市のレベルを示すことだとみなされ、進んでいると考えられていた。そのような時に、コロナがやってきて、政府から、^②不要不急の時以外はハコに行くなどいわれたわけである。

ハコからの脱却は、室内からの脱却ということでもある。僕はこれを、もう一回外を歩くことだと理解した。都市計画では、^③コンパクトシティということが、叫ばれはじめていた。都心の大きなハコで働いて、遠くの郊外に住むという二〇世紀のライフスタイルを続けると、都市はどんどん拡大していつてしまい、通勤と輸送にかかるコストやエネルギーを拡大する一方となる。地球温暖化にも歯止めがきかない。オフィスの近くに住んで、通勤の距離を縮めようというのが、コンパクトシティの考えである。都市計画の人たちは新しい言葉が好きで、スマート・シティという言葉も最近よく聞かれるが、どちらも、ハコ自体を解体しようという意識は希薄のように見える。ハコを作る建設産業をエンジンとして回転していた、二〇世紀の産業資本主義システムは、いまだに健在なのである。都市計画も建築業界も、依然としてその利益共同体の傘下にあり、それを前提としてのスマート・シティなのである。

新しいテクノロジーでエネルギー消費を削減するといっても、ハコを温存する限りは、ただハコが重裝備になるだけで、ハコの値段が上がるだけで、都市の息苦しさは、いつまでたっても解消されない。新しい交通も結構であるが、^④歩くことは、単なる移動ではない。歩くこと自体が最も重要な時間となり、最も重要な時間を与えてくれるのである。

ハコにこだわるといふことは、室内にこだわっているということと同義である。人間が室内に暮らすようになったのは、^⑤エアコン（空調）という悪魔的な機械が登場してからであり、それほど歴史は古くない。学生の頃、僕は世界の集落の調査に明け暮れていたが、集落において、室内で人間が過ごす時間は驚くほどに短かった。殆どの時間を人々は、外部か、あるいは縁側、ベランダのような中間領域で快適に過ごしていた。

一八世紀のイタリアの^⑥ジャンバティスタ・ノリが描いた地図（二七四八）は、当時もまだ室外というものがいかに重要な生活空間であったかを示している。ノリはローマの市街地を、白と黒の二色に塗り分けているのだが、建築が黒で、広場や街が白という通常の塗分けではない。誰もがアクセスできる空間は、外部空間だけではなく、教会堂も含めて白であり、個人の邸宅のようにアクセスできない空間だけが、黒なのである。これを見た時、東京にはほとんど白い空間がないと感じた。誰もがアクセスできる白がネットワーク上につながって、都市の主役となっているローマを、うらやましく感じた。東京においては、道路もまた、車という「私」によって占有されている黒い空間であり、白は限りなく小さく、その小さな空間に人がひしめきあって、コロナの温床の「密」空間が生まれたのである。

二〇世紀におけるエアコンの発明によって、室内は密閉され、エアコンは室内の温度を下げるのとは逆に、室外の温度を上昇させ、室外はいよいよ不快な空間となった。二〇世紀に登場したもうひとつの大きな技術、車によって、室外はいよいよ不快で人のいられない場所へと落ちていった。ノリの地図では白い場所だっ

たはずの街路が、車とエアコンによって、どんどんす黒く汚よごされていったのである。そのプロセスの果てに、地球温暖化が進行し、地球温暖化は、グローバルなレベルで街路という居場所を、人間から奪うばおうとしているのである。

必要なのは、単に白い場所を増やし、つなげ直すことだけではない。ノリの地図による白い場所、すなわち誰でもアクセスできるパブリック空間の中で、どう振舞ふるまうか。その問題も、今日のコロナによって、新たにわれわれにつきつけられた。

※(注1) 疫病えんびⅡ集団で発生する伝染病。

(注2) ペストⅡネズミ・ネコなどから人間に伝染する病気。

中世ヨーロッパでは、全人口の三分の一が亡なくなったと言われている。

(注3) ルネサンスⅡ古代ギリシャ、ローマの文化を復興しよ

うという文化運動。一四世紀にイタリアで始まり、ヨーロッパ各国に広まった。

(注4) 幾何学Ⅱ主に図形や空間を対象とした学問。

(注5) つけⅡあとになって行うこと。

(注6) アリストテレスⅡ古代ギリシャの哲学者。

(注7) テクノロジーⅡ科学技術。

(注8) アクセスⅡ接せつ触しょくすること、接続すること。

(注9) 温床Ⅱ物事が発生する原因になる場所・物事。

(注10) グローバルなⅡ地球規模の。世界的な。

問1 A ・ B にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ A さて B なぜなら
い A たとえば B つまり
う A では B しかし
え A あるいは B したがって

問2 本文には、次の一文がぬけ落ちている。【あ】～【お】のうち、どこに戻もどるのが最も適切か。記号で答えなさい。

むしろ普段ふだんは思いつかない新鮮しんせんな発想も生まれた。

問3 ①「ハコに閉じ込める仕事のやり方」とあるが、それが行われてきた理由を説明した次の文の I ・ II ・ III にあてはまる言葉を、それぞれの()内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出しなさい。

- ・ 大きなハコで働き、通勤する人が、 I (四字) だとされてきたから。
・ ハコの中だと、 II (十字) とされてきたから。
・ 大きなハコになればなるほど、 III (九字) を示すとみなされ、進んでいると考えられていたから。

問4 — ②「不要不急の時以外はハコに行くな」とあるが、この場合の「ハコ」を本文中の別の言葉に言い換えると何か。最も適切な言葉を、これより後の本文中から十二文字でぬき出しなさい。

問5 — ③「コンパクトシティ」とあるが、「コンパクトシティ」に対する筆者の考えの説明として最も適切なものを後から選り、記号で答えなさい。

あ ハコにこだわる二〇世紀のライフスタイルを変えていこうという確固たる目的があるので、積極的に賛成できる。

い スマート・シティ同様、ハコ自体を解体しようという意識がそれほど感じられないので、とうてい賛成できない。

う 二〇世紀の産業資本主義システムの利益共同体のもとで計画されたものなので、一刻も早く計画を停止すべきである。

え ハコは温存するが通勤と輸送にかかるコストやエネルギーを縮小しようという試みなので、やってみる価値はある。

問6 — ④「歩くこと」とあるが、筆者は、「歩くこと」の利点をどのようなことだと考えているか。次の文の□にあてはまるように、四十字以内で書きなさい。

※鉄のハコに詰め込まれている時とは違って、と
いうこと。

問7 — ⑤「エアコン（空調）」という悪魔的な機械」とあるが、筆者が、「エアコン（空調）」を「悪魔的な機械」とあると考える理由として最も適切なものを後から選り、記号で答えなさい。

あ 安い化石燃料を燃やすことでハコを成立させるが、将来、資源が枯渇することが明らかだから。

い ハコをさらに重装備にしてしまい、エネルギーの消費を削減することが難しくなるから。

う ハコの中を快適な空間にし、その中でしか効率的に仕事ができないと人間に錯覚させるから。

え 室外の温度を上げて不快な空間を作り出し、人間をハコに閉じ込める状況を助長するから。

問8 — ⑥「ジャンパティスタ・ノリが描いた地図」を話題と

して提示することで筆者はどのようなことを伝えたいと考えられるか。その説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 二〇世紀の産業資本主義システムと人間の手による科学技術の発展によって、自由に入出入りしてくつろげる空間が現代の都市から奪われているということ。

い 二〇世紀に作られた超高層ビルやオフィスビルを解体したとしても、車が都市を占有している限り、室外に快適な空間は生まれないということ。

う ペストの流行によって市街地の建築や空間が転換したのと同じように、現代でもコロナの影響で都市の様相が変化する可能性が高いということ。

え 二〇世紀における車やエアコンの登場によって室内が密閉されることで、人間が自由に活動できる場所とそうでない場所が明確になったということ。

問9 次の①～④の各文について、本文の内容と照らしあわせて、

正しければあを、間違^{まちが}っていれればいを書きなさい。

① ルネサンスの整然とした都市と幾何学が支配する大ぶりの建築が生まれた理由に、密集した街と狭い路地があった中世の都市に、ペストが大流行したという現実があった。

② ハコの中で仕事をすると、二〇世紀のスタイルの短所として、出産や子育てに関わる女性が、有能であっても、仕事から排除されてしまうということが挙げられる。

③ オフィスの近くに住んで、新しい交通手段によって通勤の距離を縮めようという考えは、結果的には地球温暖化の防止策にもなり、街路という居場所を増やすことになる。

④ 今回のコロナ騒動が私たちに突きつけた問題の一つに、私たちは、室内という生活空間で、どのように振^ふ舞^まったらよいのかを考えなければならぬということもある。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある)
問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

「ぼく(黒田朔弥)」は人と話すことが苦手な中学一年生。担任の平林先生に誘われて園芸部に入った。部員は「ぼく」とクラスメイトの西森諒、転校生でアメリカからの帰国子女、二年生の佐藤アズサの3人。二言目には「アメリカだったら」というアズサにムツとした「ぼく」はつい「そんなにアメリカがいいなら、アメリカに行けばいい」と言ってしまった。

午後になると、いつものように図書館に行った。

入り口を入ってすぐ左にある階段をのぼれば、学習室がある。アズサと顔が合わせづらいから、学習室に行こうかとも思ったけれど、ヘアドネーションのパンフレットも渡したいし、謝らなくちゃいけないという気持ちもあったので、いつも通りY Aコーナールに行った。

それでも、アズサに見つからなかったら、謝るのはまた今度でいいかなと、ちょっと弱気になる。だから、本棚の陰に隠れてしまふカウンターテーブルの一番端っこの席に座って、宿題を広げた。

そこで、しばらく漢字の書き取りをしていたら、

「^②その髪、かっこいいじゃん。」

と、アズサがとなりの席に座った。

思ったより、早く見つかってしまった。

落ち着け。アズサから声をかけてきたんだから、アズサも仲直りをしたいはずだ。タイミングをみて謝ろう。でも、そのタイミ

ングを見極めるのが、ぼくはとても下手なだけだ。

「に、西森くんのおばあさんに切ってもらったんだ。」

「へえ、リヨウのおばあさん、上手だね。」

「うん。上手だと思う。あ、それで、これ。」

ぼくは、ヘアドネーションのパンフレットをアズサに見せた。

「ああ、ヘアドネーションね。」

「知ってるの?」

「うん、知ってる。よく寄付してくれなかったって、声かけられるもん。」

ああ、そうか。そうだよな。アズサくらい髪が長い人ってあんまりいないから、そりゃあ、みんな声をかけるよね。

「なんで、髪切らないの?」

「なんか、髪の毛を切っちゃったら、アメリカにいたときのわたしが、いなくなるような気がするから。」

言ってることが、よくわからない。

ぼくが、首をかしげていたら、アズサは、

「アメリカを知ってるわたしの一部が、消えてなくなるっていうのが、いやなの。プロッサムも、日本に帰ってきてから洗ったことないんだよ。アメリカの空気がしみ込んでるから洗いたくないんだ。」

と続けた。

「ふうん。」

「^③サクヤ、きのうはごめん。」

とうとつに、アズサが謝ってきた。

「あ、うん。あの、ぼくも、アメリカ行けって言うてごめん。」

「慣れてるから気にしなくていいよ。そんなにアメリカがいいな

らアメリカに行けて、みんな言うもん。でも、サクヤは、他の子みたいにアメリカに行けて言わないと思ってたからショックだったんだよね。サクヤは、あんまりしゃべらないだけで、感情がないわけじゃないのね。ちよつとブロッサムと同じように思ってたかも。ごめんね。」

「ブロッサムと同じって?」

「わたしに指図したり、それはおかしいって言ったりしないで、わたしの言うことを、だまって、うん、うん、って聞いてくれるから。あ、今、ブロッサムが話を聞くわけじゃないじゃん、とか思ってたんじゃない?」

「え、あの、べつに……。」

「でもね、ブロッサムは、わたしの一番の友だちで、わたしの気持ちを全部わかってくれてるんだよ。わたしの五歳の誕生日にうちに来てから、ずっと一緒にいるからさ。」

「あ、うん。あの、アズサにとってはブロッサムが一番の友だちかもしれないけど、でも、ぼくも……、ぼくは、アズサと友だちだと思ってたから、アズサが、アメリカがわたしのいるべきところだと言った時、ぼく、悲しかったんだ。ぼくや西森くんと一緒に日本にいるよりアメリカがいいのかって。」

「友だちだし、仲間だよ。」

「でも、アメリカの方がいいんだよね?」

(中略)

アズサは、英語だったら、どれくらいしゃべるんだろうって心配になるくらい、日本語でいっぱいしゃべった。いっぱいすぎて、ぼくの頭は全部の情報を処理できなかった。

結局、日本がいやで、アメリカが恋しいってことでもいいのかな

あ?

「でも、よく考えたら、アメリカがそれほどいいわけでもなかったよ。アジア人だからって差別されたこともあるし、食べ物はおいしくないし、お風呂も浅いし、池魚故淵だね。」

「チギョコエン?」

「故郷を懐かしむって感じ? ④ 思い出補整?」

「アズサ、日本語、知ってるじゃん。」

「うん、四文字熟語は、かっこいいから好きなの。とにかく、アメリカがわたしの居場所っていうのも、ほんとはちよつと違うんだ。いつも、ここじゃないどこかを探してる感じ。でも、自分の居場所はどこにもない感じがする。」

ああ、それ、ちよつとわかる気がする。

「あのさ、入学したばかりのころは、ぼくもそんな感じがしてたよ。でも、園芸部に入って、みんなと土をいじってるうちに、ぼくはここにいってもいいんだなって、思えるようになった。」

ぼくが、そう言ったら、アズサが ⑤ 意外そうな顔をした。

「サクヤでも、居場所がないって思うんだ?」

「思うよ。」

「⑥ あんなお母さんがいるのにな?」

「あんなお母さんがいるからだよ。」

「お母さんがすぐく守ってくれてるから、家がサクヤの居場所なのかと思ってた。」

「全然違うよ。お母さん、すぐくうるさいもん。」

お母さんは、ぼくのことを守ってるわけじゃない。ぼくのことか心配って言いながら、ぼくを自分の思うとおりにしようとしてるんだと思う。今のままのぼくじゃ、お母さんにとってだめな

息子だから。

「アズサこそ、家にだれもないんだから、家で好きなことできるじゃん。家が居場所にならないの？」

「ならないよ。」

ぼくたちは、顔を見合わせた。

うちのお母さんとアズサのお母さんって正反対だけど、ぼくたちが家に居場所がないって思うのは一緒なんだなあ。変なの。

「ああ。こんな隅にいたんだ。わかんなかった。」

西森くんが、やってきた。

「お、黒田、かつこいいじゃん。」

西森くんが、ぼくの頭のとっぺんに手をのせて、ポンポンと髪をさわった。

「うん、ぼくもそう思う。真美子さん、上手だよね。」

「真美子さん、若いころは、よくコンテストで入賞とかしてたんだよ。」

「へえ。」

アズサが椅子から立ち上がった。

「あっちの四人掛けの机に行く？」

西森くんがそう言うと、アズサは首を横に振った。

「ううん。わたしも、リヨウのおばあさんに、髪の毛切ってもらおうかなと思って。」

「え？」

「まじ？」

「なんで急に？」

「わかんないけど、急に切りたくなった。リヨウ、お店の場所教えて。」

「いいけど、おれも一緒に行こうか？」

「いいよ。今来たばかりじゃん。」

「ああ、じゃあ、駅前のウエストウッズって店。商店街まで行けばすぐにわかるから。」

そういつて、西森くんはノートを破って、簡単な地図と店の電話番号を書いた。

「ありがとう。じゃあね。」

「来週は、畑の水やり、アズサの番だからな。」

「わかってる。」

「あ、そうだ、アズサ、オクラの花が咲いたんだよ。」

「ほんと？」

アズサの顔が、A。

「うん、すごくきれいだから、ウエストウッズに行く途中、学校に寄って見てくるといいよ。」

「うん、そうする。じゃあね。」

アズサは、笑顔のまま図書館を出ていった。

(花里真希『ハーベスト』)

※(注1) ヘアドネーション⇨寄付された人毛によってウィッグを作成し、無償で提供する活動。

(注2) YAコーナー⇨主に十代向けの書籍をあつかうコーナー。

(注3) ブロッサム⇨アズサが大切にしているぬいぐるみ。

(注4) オクラ⇨夏野菜の一つ。黄色い花が咲く。

※問題作成の都合上、文章を改編した箇所があります。

問1 — ①「いつも通りYAコーナーに行った」とあるが、このときの「ぼく」の様子として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ アズサとは気が合わないことが改めてわかったので、できれば顔を合わせることなく過ごしたいと思っている。
- い 謝るタイミングを見極めることに自信はないが、自分からアズサに謝罪しなければならぬと考えている。
- う いつもこの場所に平然といることによって、自分に落ち度がないことをアズサに遠回しに伝えようと考えている。
- え いつも通り図書館に行けばアズサが来てくれて、自分に素直に謝ってくれるのではないかと期待をしている。

問2 — ②「その髪、かっこいいじゃん」とあるが、アズサにこう言われたときの「ぼく」の気持ちを説明したものととして最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ アズサの発言から自分への気遣いを感じ、どう返答すればよいかわからずとまどっている。
- い とつぜんアズサから思いもかけないほめ言葉をもらったので、舞い上がっている。
- う 自分が思っていたよりも早いタイミングでアズサから声をかけられたので、内心あせっている。
- え アズサから声をかけられることは絶対ないと安心していたので、驚いている。

問3 — ③「サクヤ、きのうはごめん」とあるが、アズサはどんなことを謝りたかったのか。次の文のⅠ・Ⅱにあてはまる言葉を、それぞれの()内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出しなさい。

※アズサの話をⅠ(五字)のようにだまって聞いてくれるので、まるでサクヤにはⅡ(五字)かのように接してしまったこと。

問4 — ④「思い出補整」とあるが、この言葉はここではどういう意味で使われているか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ アメリカの思い出が現実よりも多くなっているという意味。
- い アメリカのことを思い出してしまいやすくなるという意味。
- う よく考えるとアメリカの悪い点ばかりが見えるという意味。
- え 実際よりもアメリカのことが良く思えてしまうという意味。

問5 — ⑤「意外そうな顔をした」とあるが、なぜか。その理由を説明した次の文の□にあてはまる言葉を、()内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出しなさい。

※中学校に入学したばかりのころのサクヤも(十三字)と感じていたということを知ったから。

問6 —— ⑥「あんなお母さん」とあるが、サクヤは母親のことをどのような人物だと感じているか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 心配しているのは見せかけて、本当はサクヤのことを思い通りにコントロールしようとしていると感じている。
- い 心配してくれるのはありがたいが、自分の思い通りにならないと怒りだすのはやめてほしいと感じている。
- う サクヤのことをほかの何よりも優先しすぎるあまり、ものごとを客観的に考えるのが下手だと感じている。
- え サクヤのこととなると見境がなくなってしまうので、意地をはずずに少し冷静になるべきだと感じている。

問7 [A]に入る言葉として、最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ ひきつった
- い ほころんだ
- う ひきしまった
- え かげった

問8 サクヤの人物像の説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 相手の顔色を見ながら話を進めることは得意だが、引つ込み思案で自分の考えを率直に伝えることは苦手な人物。
- い 友だちのことを自分のことのように考えて相談に乗ることができるので、多くの人から信頼を集めている人物。
- う 植物のことは大好きだが、周囲の人間関係にはほとんど気をつかうことがなく、自分の考えだけで行動する人物。
- え 話をすることが苦手だということを自覚しているため、必要以上のことについては多くを語ることがない人物。

問9 あるクラスで、国語の時間に本文の内容について話し合った。次に示すのは、本文に登場する「アズサ」の心情の移り変わりについて話し合っている島田さんたちの様子である。本文の内容をふまえて、[W]・[X]・[Y]・[Z]にあてはまる言葉を、[W]は後から選び、記号で答え、[X]・[Y]はそれぞれの()内の字数指定にしたがって説明し、[Z]は簡潔に答えなさい。

島田 サクヤがアズサについて感情的になって言ってしまったことがきっかけで、二人が同じような悩みを持っていることが分かって結果的によかったよね。

村岡 このようなことは、[W]と言えるよね。

野口 なぜお互いに同じような悩みを持っていることが分かって、よかったと言えるのかな。

村岡 自分と同じような悩みをかかえていたサクヤに対して親しみを覚えたアズサの中で、これまでの自分は X (十五字以内) だと信じていたけれど、これからは Y (二十字以上二十五字以内) という前向きな気持ちで芽生えたからだよ。

野口 なるほど、だからアズサは Z ことにしたんだね。

村岡 アズサは気持ちを切り替えて前に進もうとしているんだね。

あ 灯台下暗し

い えびで鯛を釣る

う けがの功名

え のれんに腕押し

三 次の各問いに答えなさい。

問1 次の——線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなになおしなさい。

- ① 新しい技術の導入は、ゲキヤクとなりうる。
- ② 中学生の兄は野球部にゾクする。
- ③ 室内でアバれる児童を注意する。
- ④ 糖質をひかえめにしたメニューを考える。
- ⑤ カレーのおいしさについての談議に花がさく。
- ⑥ 悲しそうな顔をしている妹の気持ちを量る。

問2 次の熟語のうち、①・②は同義語（意味が同じ言葉）、③・④は対義語（意味が反対の言葉）となる熟語を、漢字で書きなさい。熟語は、後の漢字群から二字を組み合わせて答えなさい。

- ① 刊行
- ② 準備
- ③ 危険
- ④ 運動

元用版保気全志止
安転静同常外意出

四 次の各問いに答えなさい。

問1 次の①・②の文中の□にあてはまる漢字一字を書き、ことわざを完成させなさい。また、そのことわざの意味に近いものを後から選び、記号で答えなさい。

- ① □をあだて返す
- ② かつばの□流れ

- あ たなからばたもち
- い さるも木から落ちる
- う 水をえた魚のよう
- え のどもと過ぎれば熱さ忘れる
- お 後足あしむしで砂をかける

問2 次のあ／おの四字熟語の□にあてはまる漢字のうち、四つを並びかえると新たな四字熟語ができる。その四字熟語につかわれない漢字が□にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

- あ 八□美人
- い 天下□
- う 公明□大
- え 意□投合
- お 一方通□

問3 次の①・②の文中の□が直接かかる言葉を、あくから一つ選び、記号で答えなさい。

① あ船の上で 大きく 手を える お男の人が かしお君の 父親だ。

② あ二月の 月が 明るく かがやく え静かなお夜に、か二人は きちっそり く約束した。

問4 次の①～④の各文について、日本語として正しければあを、間違っていればいを書きなさい。

- ① この方法で本当にうまくいくかどうかために試みる。
- ② 舌足らずな説明ではあったがどうやら伝わったようだ。
- ③ 日持ちしない果物だからすぐに食べた方がよいだろう。
- ④ その人の作った曲は多くの学校の授業で演奏している。

以上で問題は終わりです。

2024年度 入試向け
桃山学院中学校 プレテスト第2回 問題

算 数

【50分・150点】

注 意 事 項

- 1 問題は1ページから5ページまであります。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 3 円周率は、3.14とします。
- 4 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 5 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入しなさい。
- 6 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 7 「終了」の合図で鉛筆を置き、監督の先生の指示に従いなさい。

	受 験 番 号	名 前
P		

1 次の にあてはまる数を答えなさい。

(1) $97 - 84 \div \{60 - 3 \times (21 - 5)\} = \text{$

(2) $\left(\frac{5}{18} \times 2.4 + \frac{6}{7}\right) \div \frac{8}{15} \times 0.2 = \text{$

(3) $16.2 \div 0.8 - \text{} \times 1.25 = 12 \times 5 \div 4$

(4) $(0.07\text{m}^3 + 2000\text{cm}^3) \div 4\text{L} = \text{$

2 次の問いに答えなさい。

(1) あるきまりにしたがって、次のように文字をならべました。

MOMOYAMAMOMOYAMAMOMOYAMA・・・

左から 2024 番目の文字までに M は何個ありますか。

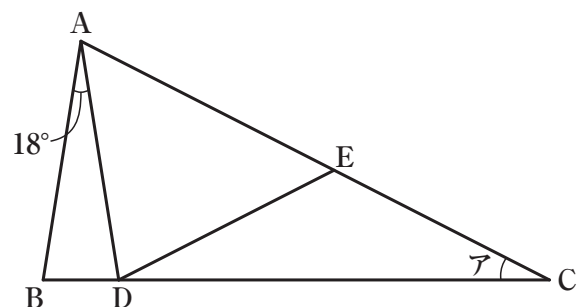
(2) あきらさん、かなこさん、さくらさん、たけしさんの 4 人が 1 列にならびます。あきらさんとたけしさんがとなり合うならび方は何通りありますか。

(3) まっすぐな道路のはしからはしまで、等しい間隔で電灯が 16 本立っています。電灯と電灯の間を 2m ずつ区切るように木を植えると、電灯も木も等しい間隔で並び、木はぜんぶで 75 本必要でした。この道路の長さは何 m ですか。

(4) 80 人が受けたテストで 1 番を正解した人が 65 人、2 番を正解した人が 50 人、1 番と 2 番をどちらも正解した人はどちらも不正解だった人の 6 倍いました。1 番と 2 番をどちらも正解した人は何人ですか。

(5) 正方形と、1 辺の長さが正方形の 1 辺の長さより 2cm 長い正三角形があります。この正方形と正三角形の周りの長さの合計は 90cm です。この正方形の面積は何 cm^2 ですか。

(6) 右の図で、AB, AD, DE, CE の長さが等しいとき、アの角の大きさは何度ですか。



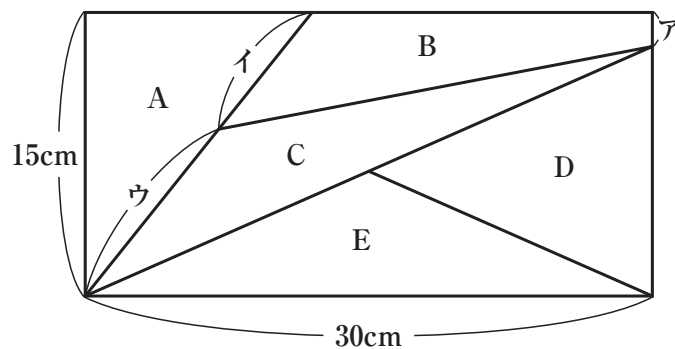
3 食塩が 20% とけている 300g の食塩水が入っている容器 A, 20g の食塩を 380g の水にとかして作った食塩水が入っている容器 B, 空の容器 C があります。このとき, 次の問いに答えなさい。

(1) はじめ, 容器 A の食塩水には何 g の食塩がとけていましたか。

(2) 容器 B の食塩水は何%の濃さですか。

(3) 容器 A から 50g, 容器 B から 100g を容器 C に移してよくかきまぜました。このとき, 容器 C の食塩水は何%の濃さですか。

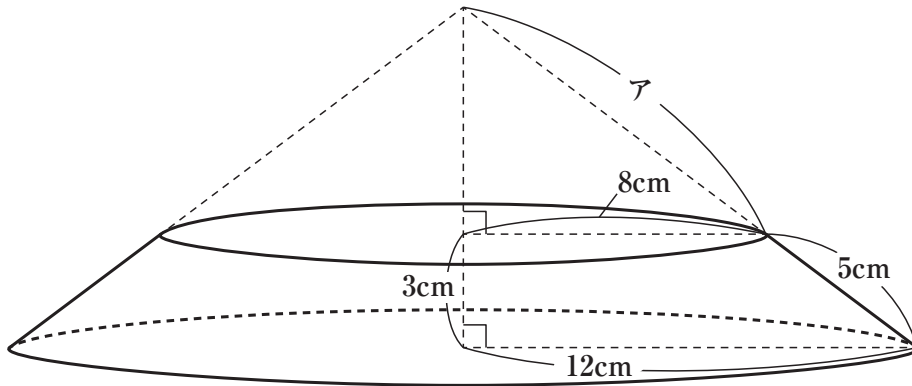
- 4 下の図のように、長方形の内側に4本の直線をひくと、5つのA, B, C, D, Eに分かれ、面積がすべて等しくなりました。このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) DとEの面積の合計は何 cm^2 ですか。
- (2) アの長さは何 cm ですか。
- (3) イの長さはウの長さの何倍ですか。

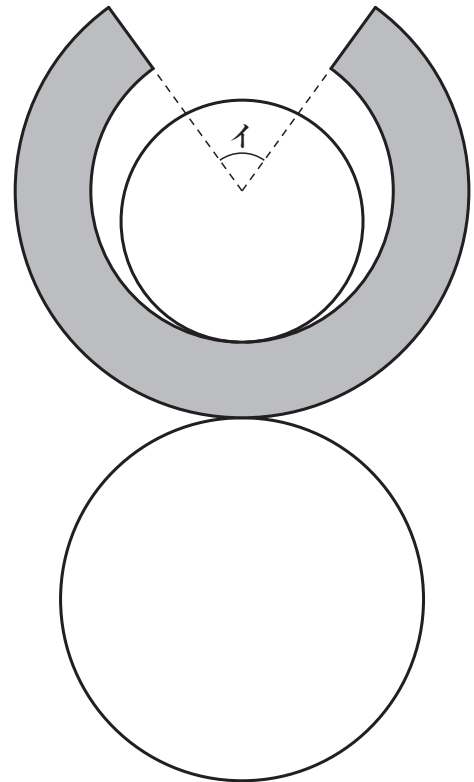
- 5** 下の図1は、底面が半径12cmの円すいを底面の円と平行な面で切り取った下側の立体で、図2はこの立体の展開図です。このとき、次の問いに答えなさい。

図1



- (1) 図1のアの長さは何 cm ですか。
- (2) 図2のイの角の大きさは何度ですか。
- (3) 図2の色をつけた部分の面積は何 cm^2 ですか。

図2



6 太郎さんは、空のバケツを持って小屋から 600m はなれた水汲み場へ行き、バケツに水を入れ、小屋に運びます。水汲み場から小屋へ向かうときは水の入ったバケツを持って歩くため、行きは $\frac{2}{3}$ の速さで歩きます。太郎さんは小屋を出発して、20 分で水汲み場との間を往復しました。また、水汲み場で水を入れる時間は考えないものとします。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 太郎さんが空のバケツを持って歩く速さは分速何 m ですか。
- (2) 小屋と水汲み場の途中には立て札があり、立て札の前を通り過ぎて水汲み場に行ってから、ふたたび立て札の前を通り過ぎるのに 7 分かかりました。小屋から立て札までは何 m はなれていますか。
- (3) もう一度小屋を出発して水汲み場との間を往復しましたが、水汲み場からもどる途中の立て札より 60m 手前で水をすべてこぼしてしまったので、バケツを空にして水汲み場に引き返して新しく水を入れてから小屋にもどりました。小屋を出発してからもどるまでに何分かかりましたか。

以上で問題は終わりです。

2024年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回

解答と配点

目次

解答

1 国語 (50分・150点) P. 1

2 算数 (50分・150点) P. 1

配点 P. 2

解 答

国 語

- 一 問1 う 問2 え
問3 I エリート II 効率的に仕事ができる III 企業や都市のレベル
問4 コロナの温床の「密」空間 問5 い
問6(例) 人との距離を自由に選ぶことができ、一人でいることで様々なことを考えることができる [40字]
問7 え 問8 あ 問9 ① あ ② あ ③ い ④ い
- 二 問1 い 問2 う 問3 I ブロッサム II 感情がない
問4 え 問5 自分の居場所はどこにもない
問6 あ 問7 い 問8 え
問9 W う X(例) アメリカが自分の居場所 [11字]
Y(例) 園芸部が自分の新しい居場所になるかもしれない [22字]
Z(例) 髪(の毛)を切る(切ってもらう)
- 三 問1 ① 劇薬 ② 属(する) ③ 暴(れる)
④ とうしつ ⑤ だんぎ ⑥ はか(る)
問2 ① 出版 ② 用意 ③ 安全 ④ 静止
- 四 問1 ① 恩・お ② 川・い 問2 え
問3 ① え ② お
問4 ① い ② あ ③ あ ④ い

算 数

- 1 (1) 90 (2) $\frac{4}{7}$ (3) 4.2 (4) 18
- 2 (1) 759個 (2) 12通り (3) 180m (4) 42人
(5) 144cm² (6) 27度
- 3 (1) 60g (2) 5% (3) 10%
- 4 (1) 180cm² (2) 3cm (3) 0.7倍
- 5 (1) 10cm (2) 72度 (3) 314cm²
- 6 (1) 分速75m (2) 390m (3) 25分

配 点

国 語

一	問1…2点 問4…5点 問7…5点	問2…4点 問5…5点 問8…5点	問3…各2点 問6…10点 問9…各3点	合計54点
---	-------------------------	-------------------------	----------------------------	-------

二	問1…4点 問4…4点 問7…4点 問9…W・Z各4点, X・Y各6点	問2…4点 問5…4点 問8…4点	問3…各4点 問6…4点	合計56点
---	--	-------------------------	-----------------	-------

三	各2点			合計20点
---	-----	--	--	-------

四	問1・問3・問4…各2点 (問1各完答)		問2…4点	合計20点
---	----------------------	--	-------	-------

算 数

1	各8点	合計32点
2	各8点	合計48点
3	(1), (2)5点, (3)6点	合計16点
4	各6点	合計18点
5	各6点	合計18点
6	各6点	合計18点

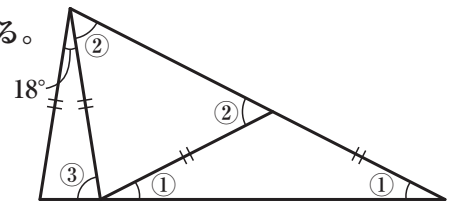
2024年度入試向け プレテスト第2回
解説

1 計算問題

- (1) $97 - 84 \div \{60 - 3 \times (21 - 5)\} = 97 - 84 \div (60 - 3 \times 16) = 97 - 84 \div (60 - 48) = 97 - 84 \div 12$
 $= 97 - 7 = 90$
- (2) $\left(\frac{5}{18} \times 2.4 + \frac{6}{7}\right) \div \frac{8}{15} \times 0.2 = \left(\frac{5}{18} \times \frac{12}{5} + \frac{6}{7}\right) \times \frac{15}{8} \times \frac{1}{5} = \left(\frac{2}{3} + \frac{6}{7}\right) \times \frac{15}{8} \times \frac{1}{5}$
 $= \frac{32}{21} \times \frac{15}{8} \times \frac{1}{5} = \frac{4}{7}$
- (3) $16.2 \div 0.8 = 16.2 \times \frac{5}{4}$ $\square \times 1.25 = \square \times \frac{5}{4}$ $12 \times 5 \div 4 = 12 \times \frac{5}{4}$
 $16.2 \times \frac{5}{4} - \square \times \frac{5}{4} = 12 \times \frac{5}{4}$ $\square = 16.2 - 12 = 4.2$
- (4) $(0.07\text{m}^3 + 2000\text{cm}^3) \div 4\text{L} = (70\text{L} + 2\text{L}) \div 4\text{L} = 72\text{L} \div 4\text{L} = 18$

2 小問集合

- (1) M を 3 つ含んだ 8 つの文字 MOMOYAMA が、 $2024 \div 8 = 253$ (回) くり返されるから、
 $3 \times 253 = 759$ (個)
- (2) あきらさんとたけしさんを 1 組とすると 3 組のならば方が、 $3 \times 2 \times 1 = 6$ (通り)
あきらさんとたけしさんのならば方を入れ替えても同じだけあるから、 $6 \times 2 = 12$ (通り)
- (3) 電灯と電灯の間は、 $16 - 1 = 15$ (か所)でそれぞれにならぶ木は、 $75 \div 15 = 5$ (本)ずつある。
電灯と電灯の間の長さは、 $2 \times (5 + 1) = 12$ (m)だから、道路の長さは、 $12 \times 15 = 180$ (m)
- (4) 1 番を正解した 65 人と 2 番を正解した 50 人とどちらも不正解だった人数をたしてどちらも
も正解だった人数をひくと全体の人数の 80 人になるから、 $65 + 50 - 80 = 35$ (人)がどちらも
不正解だった人数の、 $6 - 1 = 5$ (倍)にあたる。どちらも不正解だった人数は、 $35 \div 5 = 7$ (人)
だから、どちらも正解だった人数は、 $7 \times 6 = 42$ (人)
- (5) 周りの長さの合計 90cm は正方形の 1 辺の 4 本分と正方形の 1 辺より 2cm 長い辺の 3 本
分の合計である。正方形の 1 辺は、 $(90 - 2 \times 3) \div (4 + 3) = 12$ (cm) 面積は、 $12 \times 12 = 144$ (cm^2)
- (6) 図のアを基準①として整理すると、右の図のようになる。
③は、 $(180^\circ - 18^\circ) \div 2 = 81^\circ$ アは、 $81^\circ \div 3 = 27^\circ$

**3** 食塩水

- (1) 食塩水の量が 300g で濃さが 20%だから、 $300 \times 0.2 = 60$ (g)
- (2) 容器 B の食塩水は、 $20 + 380 = 400$ (g)で、含まれる食塩は 20g だから、容器 B の濃さは、
 $20 \div 400 \times 100 = 5$ (%)
- (3) 容器 A から 50g を移したので、この食塩水に含まれる食塩の量は、 $50 \times 0.2 = 10$ (g)
容器 B から 100g を移したので、この食塩水に含まれる食塩の量は、 $100 \times 0.05 = 5$ (g)
よって、容器 C の食塩水の量は、 $50 + 100 = 150$ (g)で、そこに含まれる食塩の量は、
 $10 + 5 = 15$ (g)だから、食塩水の濃さは、 $15 \div 150 \times 100 = 10$ (%)

4 面積の比と底辺の比

(1) 長方形の面積は、 $15 \times 30 = 450(\text{cm}^2)$ だから、A, B, C, D, E の面積は、 $450 \div 5 = 90(\text{cm}^2)$

よって、D と E の面積の合計は、 $90 \times 2 = 180(\text{cm}^2)$

(2) 右の図のように、長さを□, ○, △とする。

D と E の面積の合計は、(1)より、 180cm^2 だから、

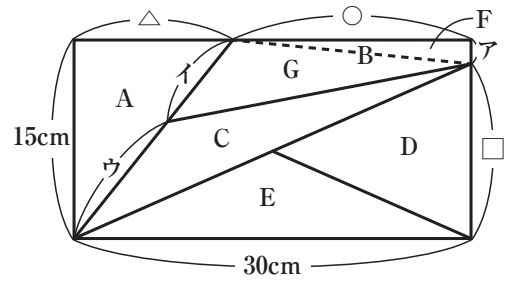
$$\square = 180 \times 2 \div 30 = 12(\text{cm}) \quad \text{ア} = 15 - 12 = 3(\text{cm})$$

(3) A は 90cm^2 だから、 $\triangle = 90 \times 2 \div 15 = 12(\text{cm})$

○ = $30 - 12 = 18(\text{cm})$ 図のように、B と F と G に分けると、 $F = 18 \times 3 \div 2 = 27(\text{cm}^2)$

$$G = 90 - 27 = 63(\text{cm}^2)$$

イ : ウ = $G : C = 63 : 90 = 7 : 10$ イはウの、 $7 \div 10 = 0.7(\text{倍})$



5 円すい台と展開図

(1) 切り取られる前の円すいと切り

り取った円すいの長さの比は、

$$12\text{cm} : 8\text{cm} = 3 : 2 \text{ となる。}$$

アの長さは、 $5 \div (3 - 2) \times 2 = 10$

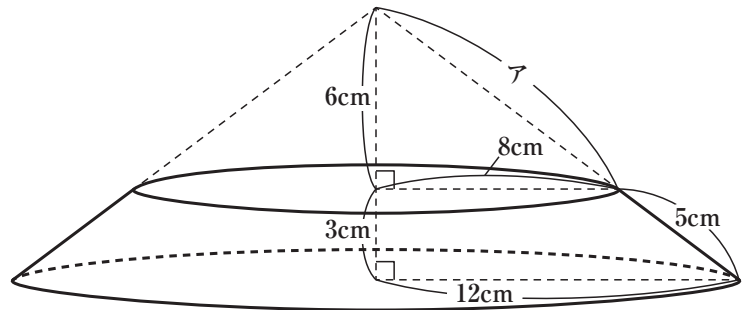
(cm)

(2) 展開図のおうぎ形の中心角は、

$$360^\circ \times \frac{12}{15} = 288^\circ$$

$$\text{イ} = 360^\circ - 288^\circ = 72^\circ$$

(3) $15 \times 15 \times 3.14 \times \frac{12}{15} - 10 \times 10 \times 3.14 \times \frac{8}{10} = (180 - 80) \times 3.14 = 314(\text{cm}^2)$



6 速さ

(1) 同じ道のりを進むのにかかる時間は、バケツに水が入っているときは空のときの、

$$1 \div \frac{2}{3} = \frac{3}{2}(\text{倍}) \text{ となる。バケツが空のとき、} 600\text{m} \text{ にかかる時間は、} 20 \div \left(1 + \frac{3}{2}\right) = 8(\text{分}) \text{ だ}$$

から、空のバケツを持って歩く速さは、 $600 \div 8 = 75$ より、分速 75m

(2) 600m の往復に 20 分、立て札から水汲み場の往復に 7 分かかかるから、立て札から水汲み

場までの道のりは、 $600 \times \frac{7}{20} = 210(\text{m})$ 小屋から立て札までは、 $600 - 210 = 390(\text{m})$

(3) 水汲み場から水をこぼした場所まで、 $210 - 60 = 150(\text{m})$ の往復にかかる時間、

$$20 \times \frac{150}{600} = 5(\text{分}) \text{ だけ多くかかるから、} 20 + 5 = 25(\text{分})$$

一 説明的文章

- 問 1 接続語を空欄に補充する問題です。単語と単語、文節と文節、文と文、段落と段落をつないで、その関係を示す働きをする文節を接続語と言います。□ A □の前後を見ると、前の「疫病は、都市や建築を、何度も大きく転換させ、作り変えてきた」と、後の「コロナの後に、われわれは、どのような都市を作り、どのような建築を作らなければいけないのだろうか」とでは、話題が変わっています。したがって、□ A □には、話題を変える働きを示す「では」があてはまります。次に、□ B □の前後を見ると、前の「……ハコが成立していたが、このシステムが長くは続かないことに、人々は気づき始めていた」と、後の「ハコを出ようとは誰も思わなかった」とでは、前の内容の当然の結果として起こることとは対立することが後に続いています。したがって、□ B □には、前後が対立することを示す「しかし」があてはまります。以上から、「では」と「しかし」の組み合わせのうが正解です。
- 問 2 ぬけている文を本文に戻す問題です。ぬけている文は、「むしろ普段は思いつかない新鮮な発想も生まれた。」ですので、どういう時に「普段は思いつかない新鮮な発想も生まれた」のかを考えていくと、「ハコ」を出て歩いた時や、公園のベンチで仕事をした時ということになります。したがって、「ハコの外にいても充分な仕事はできるのである。むしろ普段は思いつかない新鮮な発想も生まれた。」となる、【え】が正解になります。
- 問 3 内容理解の問題です。「ハコに閉じ込める仕事」とは、二〇世紀の、「ハコの中で仕事をする方が効率がいいとされて、超高層ビルに代表される大きなオフィスビルや大工場に、一定時間閉じ込められて、働かされた」仕事のことです。二〇世紀に、なぜ、そのような仕事が行われてきたかという点、「大きなハコで働き、(鉄のハコで)通勤する人が、この世紀にはエリートとされた」からです。また、「ハコの中で仕事をする方が効率がいい」、つまり、ハコの中だと「効率的に仕事ができる」とされてきたからです。さらには、「より大きなハコが企業や都市のレベルを示すことだとみなされ、進んでいると考えられていた」からです。指定された字数からあてはまる言葉を見ていくと、□ I □には、「エリート」、□ II □には、「効率的に仕事ができる」、また、□ III □には、「企業や都市のレベル」があてはまることとなります。
- 問 4 内容理解の問題です。「コロナがやってきて、政府から、不要不急の時以外はハコに行くな……」とあります。したがって、この場合の「ハコ」は、疫病(悪性の伝染病)であるコロナとの関連でとらえるものだということがわかります。筆者は、本文の後半で、「一八世紀のイタリアのジャンパティスタ・ノリが描いた地図」にふれて、「東京においては、道路もまた、車という『私』によって占有されている黒い空間であり、白は限りなく小さく、その小さな空間に人がひしめきあって、コロナの温床の『密』空間が生まれたのである」と、現代の東京の姿を述べています。ここにある、「コロナの温床の『密』空間」こそが、コロナのときに、「不要不急の時以外は行くな」と言われたところでした。なお、「温床」とは、物事の発生しやすい場所・物事という意味です。

問5 内容理解の問題です。大きなハコで働いて、遠くの郊外に住むという、二〇世紀のライフスタイルを続けると、「都市はどんどん拡大していってしまい、通勤と輸送にかかるコストやエネルギーを拡大する一方となる」ので、それに対する対応策として、「オフィスの近くに住んで、通勤の距離を縮めよう」という発想から出てきた考えが、コンパクトシティです。コンパクトシティも、最近よく聞かれるスマート・シティも、「ハコ自体を解体しようという意識は希薄のように見える」という点、さらには、「都市計画も建築業界も、依然として」二〇世紀の産業資本システムの「利益共同体の傘下」にあり、それを前提にしているという点で賛成しかねるというのが、コンパクトシティ、スマート・シティに対する筆者の立場です。あは、「二〇世紀のライフスタイルを変えていこうという確固たる目的がある」ことはその通りですが、「積極的に賛成できる」が適切ではありません。いは、「ハコからの脱却」を主張する筆者の考えに合うので、適切です。うは、筆者は、コンパクトシティそのものの考えに反対しているわけではないので、「一刻も早く計画を停止すべきである」が適切ではありません。えは、「ハコからの脱却」を主張する筆者にとって、コンパクトシティは「やってみる価値はある」ものとは思われないので、適切ではありません。

問6 内容を理解し、設問の指示にしたがって記述する問題です。「歩くことは、単なる移動ではない。歩くこと自体が最も重要な時間となり、最も重要な時間を与えてくれるのである」と続いています。筆者が、そのように思ったのはどうしてかという理由を考えていきます。コロナ騒動によって、「今回僕は、随分と歩いた」とあり、その一文で始まる段落と、その次の段落で歩くということに対する、筆者の思いが述べられています。

・歩くことで体調を整え、また歩きながら様々なことを考え、様々なものを頭の中の紙の上でスケッチした。

・歩くとは、人との距離を自由に選べるということでもある。

・歩くということは、いつも一人であるということであり、自由であるということである。

これらが、「歩くこと」に対して、筆者が、「利点」と考えていることなので、この部分を用いてまとめていくとよいでしょう。二度使われている「自由」は不可欠です。

設問の指定は、「四十字以内」ということだけですが、前の「鉄のハコに詰め込まれている時とは違って、」と、後の「ということ。」にうまく続くようにまとめていきます。なお、「鉄のハコ」とは、電車・バス・自動車などの移動手段のことです。

例：※人との距離を自由に選ぶことができ、一人であることで様々なことを考えることができる (40字)

問7 内容理解の問題です。エアコン（空調）が登場する前は、「殆どの時間を人々は、外部か、あるいは縁側、ベランダのような中間領域で快適に過ごしていた」とあります。また、二つ後の段落に、「二〇世紀におけるエアコンの発明によって、室内は密閉され、エアコンは室内の温度を下げるのとは逆に、室外の温度を上昇させ、室外はいよいよ不快な空間となった」「ノリの地図では白い場所だったはずの街路が、車とエアコンによって、どんどん黒く汚されていったのである」とあります。室外が、不快な、そして、汚染された空間であれば、人々は室内にとどまることになります。以上から、えが正解になります。あは、「資源が枯渇する」、いは、「エネルギーの消費を削減する」とありますが、エアコンとエネルギー消費

量については本文で述べられていないので、適切ではありません。うは、ハコの中で仕事をする方が効率がいいとされてきたことと、エアコンの有無との関係は本文で述べられていないので、適切ではありません。

問8 内容理解の問題です。ジャンパティスタ・ノリが描いた地図において、「白」は「誰もがアクセスできる空間」を意味します。これを見たとき、筆者は、「東京にはほとんど白い空間がないと感じ」、また、「誰もがアクセスできる白がネットワーク上につながって、都市の主演となっているローマを、うらやましく感じ」ています。現代の都市から、誰もがアクセスできる「白い空間」がなくなったことと、それを奪ったのは、われわれが作ったハコ、エアコン、車であるということ的印象づけるために、ノリが描いた地図を提示しているのです。いは、ノリの地図を示して筆者が伝えたい内容ではないので、適切ではありません。うは、本文の初めに「コロナの後に、われわれは、どのような都市を作り、どのような建築を作らなければいけないのだろうか」とありますが、「現代でもコロナの影響で都市の様相が変化する可能性が高い」とまでは言っていないので、適切ではありません。えは、ノリが描いた地図は、「人間が自由に活動できる場所とそうでない場所が明確になったということ」ではなく、「誰もがアクセスできる空間」が減ったことを伝えるために提示されているので、適切ではありません。

問9 本文の内容を理解して、それぞれの文の正誤を考える問題です。①～④の文が、それぞれ本文中のどの部分に対応しているかを探して考えていくとよいでしょう。①は、1ページ上段の第1段落の内容に対応しています。本文中には、「ベストによって、中世の密集した街と狭い路地は嫌われ、ルネサンスの整然とした都市と、幾何学が支配する大ぶりな建築が生まれた」とあるので、合います。②は、1ページ下段の「ハコに閉じ込める仕事のやり方は」で始まる段落の内容に対応しています。本文中には、「女性にも多くの犠牲を強いた。出産や子育ての時期には、ハコに通ってみんなで仕事をするのが難しい。そのために多くの有能な女性が仕事から排除され、社会から排除されてきた」とあるので、合います。③は、2ページ上段の「ハコからの脱却は」で始まる段落と、その次の段落の内容に対応しています。本文中には、「どちら（コンパクトシティ、スマート・シティ）も、ハコ自体を解体しようという意識は希薄のように見える」「ハコを温存する限りは、ただハコが重装備になるだけで、ハコの値段が上がるだけで、都市の息苦しさは、いつまでたっても解消されない」とあります。これに対し、③には「結果的には地球温暖化の防止策にもなり、街路という居場所を増やすことになる」とありますが、このようなことは本文で述べられていないので合いません。

④は、3ページ上段、最後の段落の内容に対応しています。本文中には、「……誰でもアクセスできるパブリック空間の中で、どう振舞うか。その問題も、今日のコロナによって、新たにわれわれにつきつけられた」とあり、④の「室内という生活空間で、どのように振る舞ったらよいのか」とは合いません。

文学的文章

問1 登場人物の様子をとらえる問題です。直前に「ヘアドネーションのパンフレットも渡したいし、謝らなくちゃいけないという気持ちもあったので」とあります。また、「ぼく（サクヤ）」

は、アズサが声をかけてきたとき、「アズサも仲直りをしたいはずだ。タイミングをみて謝ろう。でも、そのタイミングを見極めるのが、ぼくはとても下手なんだけど」と、自分の性格をしっかりと理解しています。以上から、いが正解になります。あは、「できれば顔を合わせることなく過ごしたいと思っている」、うは、「自分に落ち度がないことをアズサに遠回しに伝えようと考えている」、えは、「(アズサが) 自分に素直に謝ってくれるのではないかと期待をしている」が、それぞれ適切ではありません。

問2 登場人物の心情理解の問題です。「ぼく」は、「アズサに見つからなかったら、謝るのはまた今度でいいかなと、ちょっと弱気にな」って、「本棚の陰に隠れてしまうカウンターテーブルの一番端っこの席に座」りました。しかし、アズサが声をかけて、「となりの席に座った」ので、「思ったより、早く見つかってしまった。落ち着け」と思っています。「落ち着け」から、あせっている「ぼく」の気持ちを読み取ることができます。以上から、うが正解になります。あは、「どう返答すればよいかわからずとまどっている」、いは、「アズサから思いもかけないほめ言葉もらったので、舞い上がっている」、えは、「アズサから声をかけられることは絶対ないと安心してた」が、それぞれ適切ではありません。

問3 内容理解の問題です。アズサの、「ぼく」への言葉に着目しましょう。アズサは、「でも、サクヤは、他の子みたいにアメリカに行けって言わないと思ってたからショックだったんだよね。サクヤは、あんまりしゃべらないだけで、感情がないわけじゃないのにね。ちょっとブロッサムと同じように思ってたかも。ごめんね」「わたしに指図したり、それはおかしいって言ったりしないで、わたしの言うことを、だまって、うん、うん、って聞いてくれるから」と言っています。ここから、には「ブロッサム」、には「感情がない」をぬき出します。

問4 語句の知識と登場人物の心情理解の問題です。「不足を補い、具合の悪いところを直す」という「補正」ではなく、「補って整える」という「補整」が用いられています。二言目には「アメリカだったら」と言うアズサですが、「でも、よく考えたら、アメリカがそれほどいいわけでもなかったよ。アジア人だからって差別されたこともあるし、食べ物はおいしくないし、お風呂も浅いし」と言っています。アズサの頭の中では、アメリカが補って整えられる、つまり、実際よりも良く思われるということを言っています。

問5 登場人物の言動の理由をとらえる問題です。アズサの、「アメリカがわたしの居場所っていうのも、ほんとはちょっと違うんだ。いつも、ここじゃないどこかを探してる感じ。でも、自分の居場所はどこにもない感じがする」という言葉に、「ぼく」は、「あのさ、入学したばかりのころは、ぼくもそんな感じがしてたよ。……」と返していますが、その言葉が、アズサには意外だったのです。「そんな感じ」とは、「自分の居場所はどこにもない感じ」です。思ってもいなかった言葉が「ぼく」の口から出てきたので、アズサは、「サクヤでも、居場所がないって思うんだ？」と聞き返しています。

問6 内容理解の問題です。自分の「お母さん」について、「ぼく」は、アズサの「お母さんがすごく守ってくれてるから、家がサクヤの居場所なのかと思ってた」という言葉に対し、「全然違うよ。お母さん、すごくうるさいもん」と言い、さらには、「お母さんは、ぼくのことを守ってるわけじゃない。ぼくのことを心配って言いながら、ぼくを自分の思うとおりにし

ようとしてるんだと思う。今のままのぼくじゃ、お母さんにとってだめな息子だから」と思っています。この内容に合う**あ**が正解になります。いの「心配してくれるのはありがたい」「自分の思い通りにならないと怒りだす」、うの「ものごとを客観的に考えるのが下手だ」、えの「サクヤのこととなると見境がなくなってしまう」「意地をはらずに少し冷静になるべきだ」は、それに類する言葉が本文中にないので、いずれも間違いになります。

問7 語句の知識と登場人物の心情理解の問題です。「あ、そうだ、アズサ、オクラの花が咲いたんだよ」という発言を聞いたアズサが、「ほんと？」と答えると、西森くんは、「うん、すごくきれいだから、ウェストウッズに行く途中、学校に寄って見てくるといい」と言っています。それに対し、アズサは、「うん、そうする。じゃあね」と言い、「笑顔のまま図書館を出ていった」とあります。したがって、西森くんが、オクラの花が咲いたと言ったときに、笑顔になったことがわかります。「ほころぶ」は、「顔がほころぶ」という形で「笑顔になる」という意味があります。**あ**の「ひきつった」、**う**の「ひきしまった」、**え**の「かげった」も、「顔が」につながる言葉ですが、いずれも「笑う」という意味はありません。

問8 登場人物の人物像理解の問題です。本文には、二言目には「アメリカだったら」と言うアズサにムツとした「ぼく（サクヤ）」が、アズサに、つい「そんなにアメリカがいいなら、アメリカに行けばいい」と言ってしまった日の、翌日のことが書かれています。「ぼく」の言動、アズサの「ぼく」に対する言葉から、「ぼく」の人物像をとらえていきましょう。

「ぼく」は、いつものように図書館に行っていますが、そこに、

- ・アズサと顔が合わせづらいから、学習室に行こうかとも思ったけれど、ヘッドネーションのパンフレットも渡したいし、謝らなくちゃいけないという気持ちもあったので……。
- ・それでも、アズサに見つからなかったら、謝るのはまた今度でいいかなと、ちょっと弱気になる。
- ・タイミングをみて謝ろう。でも、そのタイミングを見極めるのが、ぼくはとても下手なんだけど。

とあります。これに対し、アズサは「ぼく」について、次のように言っています。

- ・でも、サクヤは、他の子みたいにアメリカに行けて言わないと思ってたからショックだったんだよね。サクヤは、あんまりしゃべらないだけで、感情がないわけじゃないのにね。ちょっとブロッサムと同じように思ってたかも。ごめんね。
- ・わたしに指図したり、それはおかしいって言ったりしないで、わたしの言うことを、だまって、うん、うん、って聞いてくれるから。

さらには、アズサに対して、「ぼく」は次のように言ったり、思ったりしています。

- ・でも、ぼくも……、ぼくは、アズサと友だちだと思ってたから、アズサが、アメリカがわたしのいるべきところだって言った時、ぼく、悲しかったんだ。……。
- ・うちのお母さんとアズサのお母さんって正反対だけど、ぼくたちが家に居場所がないって思うのは一緒なんだなあ。変なの。

以上をおさえて、**あ～え**を見ていきます。**あ**は、「相手の顔色を見ながら話を進めることは得意だ」とありますが、そのような場面はありません。また、「引っ込み思案で自分の考えを率直に伝えることは苦手」とありますが、「ぼく」は言葉につまりながらも自分の思いを

素直に話しています。 いは、「多くの人から信頼を集めている」は本文からは読み取れません。うは、「周囲の人間関係にはほとんど気をつかうことがなく、自分の考えだけで行動する人物」だとは読み取れません。したがって、「話をするのが苦手だということ」を自覚している。「必要以上のことについては多くを語ることはない」とあるえが、先に挙げた内容に合うので、正解です。

問9 内容理解の問題です。島田さんの発言の中に「結果的によかったよね」とあります。このような意味を持つことわざは、「何気なしにやったこと、失敗だと思ったことが、かえって思いがけない成果となる」という意味の、う「けがの功名」です。あ「灯台下暗し」は、「身近なことはかえってわかりにくい」、い「えびで鯛を釣る」は、「わずかな元手で大きな利益を得る」、え「のれんに腕押し」は、「何の手ごたえも何のききめもないこと」という意味のことわざです。次に、「二人が同じような悩みを持っていることが分かって」とありますが、「同じような悩み」とは何でしょうか。アズサは、「ぼく」に「サクヤでも、居場所がないって思うんだ?」と言っています。また、「ぼく」は、「ぼくたちが家に居場所がないって思うのは一緒なんだなあ。変なの」と思っています。ここから、「居場所」に関することが、二人の悩みだということがわかります。「ぼく」は、「アズサが、アメリカがわたしのいるべきところだって言った時、ぼく、悲しかったんだ」と言い、また、アズサは、「アメリカがわたしの居場所っていうのも、ほんとはちょっと違うんだ。いつも、ここじゃないどこかを探してる感じ。でも、自分の居場所はどこにもない感じがする」と言っています。ここから、にあてはまる言葉を考えていくと、「アメリカが自分の居場所（いるべきところ）」「ここではない場所を探している」などのようなものになります。しかし、アズサは、同じ悩みを持っている「ぼく」と心を通わせることができ、さらには、同じ園芸部の「リョウ」とも親し気に言葉を交わしています。ここから、にあてはまる言葉を含めて考えていくと、園芸部がアズサの新しい居場所になるかもしれないことが読み取れます。さらには、本文の後半で、髪のことを話題にした「ぼく」と「リョウ」の会話を聞いていたアズサが、突然、「わたしも、リョウのおばあさんに、髪の毛切ってもらおうかなと思って」「急に切りたくなった」と言い、店の場所を聞いて図書館を出ていきました。気持ちを切り替えて前に進もうとしているアズサの思いが、「髪の毛を切る」という行動に表れています。したがって、には、「髪（の毛）を切る」「髪（の毛）を切ってもらう」があてはまります。

漢字・語句

問1 漢字の読み書きの問題です。略字や雑で読めない字は正答にならないので、日頃から、ていねいに書くという意識を持ちましょう。①「劇薬」の「劇」は、「激しく強い」と、程度が普通ではないさまを表します。「劇」は、画数の多い（15画）漢字で、筆順にも注意が必要な漢字です。②「属」に訓読みはなく、「ゾク」は音読みです。「属」を使った熟語には、「所属」「配属」「金属」などがあります。③「暴」の音読みは「ボウ・バク」で、「暴」を使った熟語には、「暴風」「暴言」「暴露」などがあります。④「糖質」の「糖」は、画数の多い（16画）漢字です。正確に書けるように筆順も覚えておきましょう。⑤「ダンギ」には、「道理を説く」という意味の「談義」と、「話し合う」という意味の「談議」がありま

す。⑥「はか(る)」には、「量る」「計る」「測る」「図る」などの同訓異字があります。「量る」は、「計量・推量」の意味です。

問2 同義語・対義語の問題です。①「刊行＝出版」、②「準備＝用意」という同義語(同意語)です。また、③「危険⇔安全」、④「運動⇔静止」という対義語(反対語)です。

四 語句・言葉のきまり

問1 ことわざの知識の問題です。ことわざの中には、似た意味を持つもの、反対の意味を持つものがあります。①は、「さんざん恩を受けながら、かえって恩人を害するようなことをする」という意味の「恩をあだで返す」です。似た意味のことわざは、「後足^{あとあし}で砂をかける」です。したがって、恩・おが正解です。なお、「後足で砂をかける」の反対の意味のことわざは、「立つ鳥あとをにごさず」です。②は、「泳ぎのうまいかっぱでも、時には川(の水)に流されることがある」という意味の、「かっぱの川流れ」です。似た意味のことわざは、「さるも木から落ちる」「弘法にも筆の誤り」「上手の手から水が漏る」があります。したがって、川・いが正解です。あ「たなからばたもち」は、「労せずして幸運をつかむこと」で、似た意味のことわざは「ぬれ手で粟^{あわ}」、う「水を得た魚のよう」は、「その人に合った場所で活躍^{かつやく}する様子」、え「のどもと過ぎれば熱さ忘れる」は、「苦しい経験も、それが過ぎればけろりと忘れてしまう」という意味です。

問2 四字熟語の知識の問題です。あ「だれにでも愛想よくふるまうこと」という意味の「八方美人」です。い「比べるものがないほど優れていること(もの)」という意味の「天下一品」です。う「公正で私心がないこと」という意味の「公明正大」です。え「相手と気持ちがぴたりと合うこと」という意味の「意気投合」です。お「片側からしか通ることができない」という意味の「一方通行」です。「方」「品」「正」「気」「行」の五つの漢字の中の四つを使ってできる四字熟語は、「行いが正しいこと」という意味の「品行方正」なので、使われない漢字は「気」で、えが正解です。

問3 修飾語^{しゅうじょくご}の係り受けの問題です。修飾語がどこにかかるかは、かかる語と語を直接つなげて、うまく意味が通るかどうかで確認^{かくにん}するとよいでしょう。①(船の) 上で どうしたのかと考えていくと、え「ふる」にかかります。「大きく 手を 船の 上で ふる ～」と語順を入れ換えても、意味は変わりません。②(二月の 月が 明るく) かがやく のは、「夜」なので、お「夜に」にかかります。

問4 日本語全般^{ぜんぱん}に関する問題です。

①「試みる」は、「ためしにやってみる、試す^{ため}」という意味なので、「ためしに試みる」は、同じ意味の言葉が重なるので、日本語としては間違^{まちが}ったものになります。「花が開花する」「あとで後悔^{こうかい}する」など、このような間違いは多いので、注意しましょう。

② この場合の「舌」は、「言語、言葉づかい」という意味なので、「舌足らずな説明」は間違^{まちが}った言い方ではありません。

③「日持ち」とは、「食物が保存のきくこと」なので、「日持ちしない果物」は間違^{まちが}った言い方ではありません。

④ この文の主語は「(その人の作った)曲は」、述語は「演奏している」なので、主語と述

語が対応しません。述語を「演奏されている」に直すと、意味が通ります。